

世界最古のオーケストラ、雅楽。

源氏物語で光源氏が舞った「青海波」を

中心に優雅なプログラムをお楽しみ下さい。

伶 雅 樂 舍 樂



2024年 10月20日 日 16:30開場
17:00開演

※雨天決行（荒天時は中止にする場合がございます）

会場 越谷市日本文化伝承の館
こしがや能楽堂

チケット
全席自由
(消費税込)

一般 2,000円 学生 1,000円

※未就学児童の入場はお断り申し上げます。※能楽堂友の会会員・サンシティメンバーズ10%割引

※団体でご購入の場合は割引がございますので、お問い合わせください。

※前売券は150枚販売。（当日券は天候により販売を中止する場合がございます。）

※本公司のチケットをお持ちのお客様は、公演当日、日本庭園「花田苑」(9:00～16:00【入園は15:00まで】)に無料でご入園いただけます。

※能楽堂の「能舞台」及び「観覧席の一部」は屋外の施設となりますので、防寒及び暑さ対策にご留意ください。

※会場内の飲食はできません。また、公演中の写真撮影・録音・録画行為は固くお断りいたします。

お問い合わせ サンシティホール 048-985-1112

サンシティホール 検索

チケット発売日 / 7月21日(日)

サンシティホール 048-985-1112

※9:00より電話予約・オンライン予約・窓口販売開始

こしがや能楽堂 048-964-8700

東武よみうり チケットセンター 048-987-0553

公演の見どころ

雅楽で、「青海波」は特別な一曲です。「源氏物語・紅葉賀」の巻で、若き日の光源氏が頭中将と二人で舞うシーンが有名で、夕映えに光り輝く源氏の舞はあまりにも美しく、皆が涙するほどだったと描かれています。この「青海波」を、お話を交えながらいろいろな形でお楽しみいただきます。

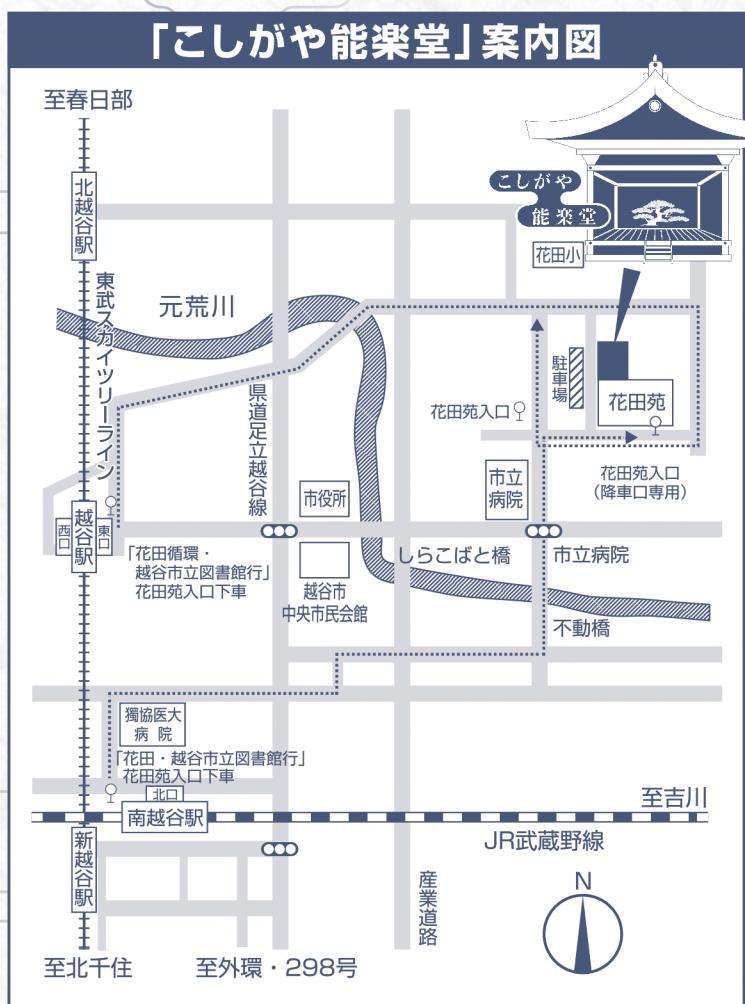
まずは管絃での演奏で、盤渉調「青海波」をお聴きいただきます。舞で有名な「青海波」ですが、楽曲も聞き応えのある大変な名曲です。続いて、この曲を黄鐘調に移調した渡し物をご紹介し、聴き比べていただきます。復元楽器の竽と大筚篥による二重奏「蒼海波」(宮田まゆみ構成)は、「青海波」の元の旋律を探って構成された楽曲で、西域を思わせる古の響きを彷彿とさせる曲となりました。

後半は舞楽「青海波」をお楽しみいただきます。二人で舞われる左方平舞の名曲で、舞振りは寄せては引く波を表す様を表しているとも言われます。また、装束はこの曲に特有の装束で、波を表す「青海波文様」と、波に遊ぶ千鳥が、全て違う姿で96羽刺繡されているという大変麗しく豪華な装束です。打物の手に男波、女波、千鳥懸けという特別な手があるのも特徴です。光源氏と頭中将の舞を存分にご鑑賞ください。

伶楽舎について

雅楽の合奏研究を目的として、1985年に芝祐靖（元芸術院会員、文化勲章受章者）が創設し、長らく音楽監督をつとめた雅楽団体。現音楽監督・宮田まゆみ。発足以来、現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開している。特に、現代作曲家への委嘱作品や古典雅楽様式の新作の初演には力を入れ、年2回のペースで開催している自主演奏会で度々発表している。

第16回（2016年度）サントリー芸術財団「佐治敬三賞」、2020年第50回ENEOS音楽賞（邦楽部門）等を受賞。他に、解説を交えた親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普及にも努める。文化庁「文化芸術による子育成総合事業」など、小中高の生徒を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなども数多く行っている。なお「伶楽舎」とは、古代中国の楽人の祖とされる「伶倫」に因んで、現行の雅楽のみならず、廃絶曲や新作など、従来の枠にとらわれない幅広い活動を目指して、芝祐靖によって付けられた会名である。



曲目定

ばんしきちょうのねとり、せいがいは 盤渉調音取、青海波」

◆お話し、楽器紹介

おうしきちょう せいがいは

◆管絃 「黄鐘調 青海波」より

そういうのは

◆復元楽器による「蒼海波」(宮田まゆみ構成)

◆お話し

せいがいは
◆舞楽 「青海波」

お問い合わせ

サンシティホール TEL: 048-985-1112
FAX: 048-985-1119
〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷 1-2876-1

会場
アクセス

越谷市日本文化伝承の館
こしがや能楽堂 TEL : 048-964-8700
FAX : 048-964-8622

- 駐車場には限りがありますので、ご来場の際は電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。
 - 東武スカイツリーライン越谷駅東口北側ロータリーより
花田循環又は市立図書館行きバス「花田苑入口」より下車徒歩3分
 - 東武スカイツリーライン新越谷駅／JR武蔵野線南越谷駅北口ロータリーより
花田行き又は市立図書館行きバス「花田苑入口」より下車徒歩3分